

環 境

[ISO26000 / 6.5環境]

環境活動



紙媒体とデジタル媒体の融合を推進し、事業活動における環境負荷低減と限りある資源の有効活用に努めています。また、生物多様性および生態系の保護を含めた環境保全のため、原材料、省エネルギー、大気への排出、排水および廃棄物などについて、TMS(竹田マネジメントシステム)の活動として管理し、環境汚染の予防に努めています。

[マネジメントシステムの状況]

6.3 7.3 8.4 9.4 11.6 12.4 13.3 14.1 15.2

監査の状況

マネジメントシステムが適切に運用され、維持されていることを確認するため、「内部監査規定」を定め、定期的に内部監査を行っています。内部監査は原則として年2回行っていますが、重要な工程が変更となるなど、統括監査責任者(P.8 TMS組織体制図参照)が必要と認めた場合には臨時に実施することになっています。

また、内部監査員に対しては毎年1回研修会を実施し、監査基準の徹底とレベルアップを図っています。

内部監査の監査結果状況

2020年度の内部監査の結果、全社合わせて「不適合」5件と「観察事項」や「改善の機会」として157件の指摘がありました。すべて直ちに是正処置を取り対応しました。

内部監査の傾向としては、日常業務に沿った運用の確認が重要視されるとともに、指導的コメントが増えて改善向上型の活動になっています。

外部審査の審査結果状況

外部認証機関(インターテック・サーティフィケーション株式会社)による維持審査を行いました。

審査の結果、全社合わせて「軽微な不適合」2件と「特定された改善の機会」33件の指摘がありました。指摘いただいた項目には、様々な内容のものがありますが、審査員の言葉から読み取った指摘事項を含め、すべてに是正処置を取り改善しました。

4.4 13.3

全社員教育の状況

TMS(竹田マネジメントシステム)の効果的な運営を図るために、全社員に対して次のような教育を行っています。

マネジメントシステムに対する認識を向上させる教育とともに、コンプライアンスの意識を高めリスクを回避するための教育を行っています。

テキストでの教育の後、理解度テストを行うことで教育効果を確認し、「教育実施記録」を保持しています。

2020年度の主な教育実施内容

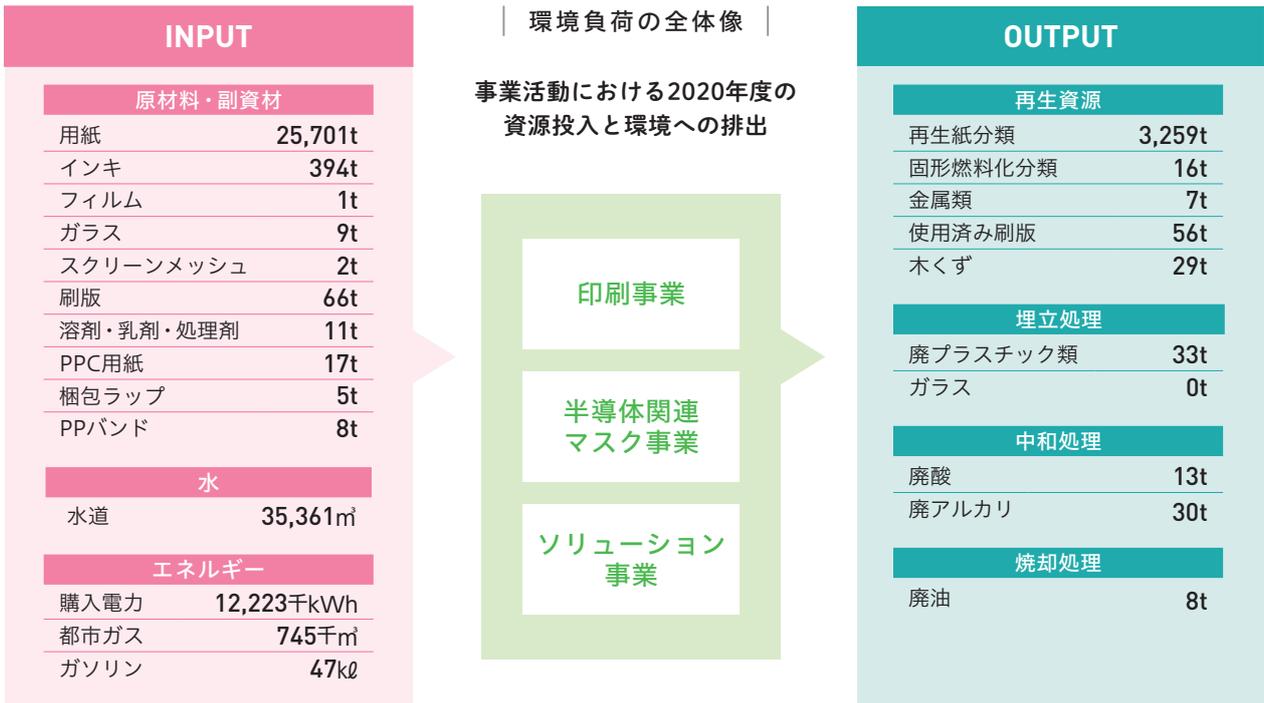
- FSC®(CoC) 認証のしくみと当社の運用ルールの再確認
- テレワーク勤務実施手順の理解
- リスクグループ分析の理解
- 不適合及び是正処置
- 外部委託先の管理
- 内部監査
- ISO外部審査での指摘事項
- 職場におけるハラスメント
- 外部監査指摘に対する是正処置
- JIPDEC「個人情報の取扱いにおける事故報告集計結果」

[環境保全の状況]

3.4 6.3 7.3 11.6 12.5 14.1 15.2

法規制の順守

竹田印刷では、環境に関する法規制を順守し環境汚染をできる限り少なくすることは企業の重要な責務との認識のもと、法的要求事項への対応実施・維持の状況を順守状況一覧表によりチェックし、順守の徹底を図っています。また、環境関連法令に従い、必要に応じて管理者を設置し、管理報告を行っています。2020年度における環境関連法令違反、環境問題を引き起こす事故・汚染、環境問題に関する苦情は発生していません。



6.1

取水によって著しい影響を受ける水源

竹田印刷は、事業を行う上で必要な水をすべて「水道」から取水し使用しています。地下水の揚水はなく、当社の

事業活動における取水によって著しい影響を受ける水源はありません。

3.9 7.3 8.4 12.2

気候危機への対応

地球温暖化は、気温を上昇させるだけでなく地球全体の気候を大きく変える「気候変動」を引き起こします。そして気候変動が要因となつての集中豪雨や異常な高温がもたらす多くの人的・物的被害は、日常生活に多大な影響をもたらし、その深刻さから近年は「気候危機」という言葉も使わ

れるようになりました。

竹田印刷は、経営理念「Hard+Soft+Heart」を達成するためにも、温暖化への対策が重要であると考え、具体的な取り組みを進めています。

温室効果ガスの増加

化石燃料の使用による
CO₂の排出など

気候要素の変化

気温上昇 降雨パターンの変化
海面水位上昇など

気候変動による影響

自然環境への影響
人間社会への影響

地球温暖化対策

緩和 温室効果ガスを減らす

- 電気使用量の削減
 - ・ 輪転印刷機乾燥機の排気ファンモーターのインバーター化
 - ・ コンプレッサのインバーター化
 - ・ 低電力型印刷機の導入
 - ・ 省エネタイプのパソコン導入
 - ・ 不要時の消灯、LED照明への変更
 - ・ クールビズ・ウオームビズの実施
- 社員の移動に伴うCO₂削減
 - ・ テレビ会議の実施
 - ・ テレワークの実施
- 社有車のCO₂削減
 - ・ 低排出ガス車への変更
 - ・ 燃料電池車の導入
 - ・ アイドリングストップ装置搭載車の導入
 - ・ ドライブレコーダーの設置
 - ・ 日々の始業点検、定期点検の実施
 - ・ 運転日報の作成（走行距離などの記録）
 - ・ エコドライブの実施

適応 温暖化による悪影響に備える

- 災害対策
 - ・ 事業継続計画の策定
 - ・ 災害用備蓄
 - ・ 防災教育
 - ・ 安否確認システムの通信訓練
- 熱中症対策
 - ・ スポットエアコンの設置
 - ・ 職場の温湿度管理
 - ・ 緊急時の応急処置教育
- 感染症対策
 - ・ 事業継続計画の策定
 - ・ 注意喚起